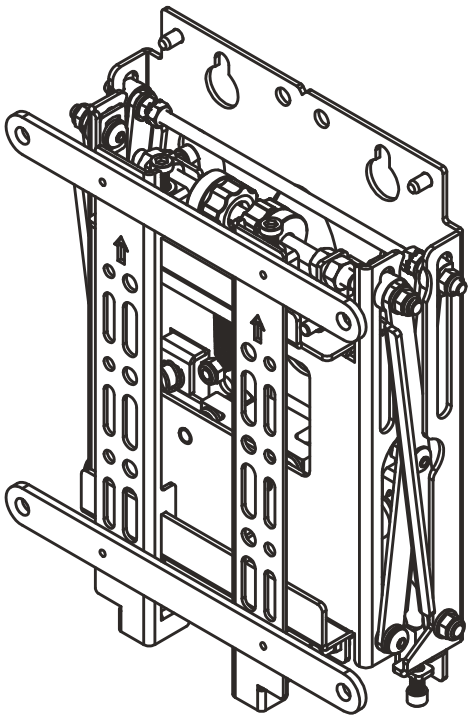
B-TECH AV MOUNTS

BT8309 V2

業務用　ビデオディスプレイ壁掛金具
VESA75 - VESA200対応

取扱説明書



- 耐荷重：25kgまでのフラットディスプレイに対応します。
- 木柱又はコンクリート製の壁面への取付に適応します。
- マウントパターン： VESA75 x 75から200 x 200までユニバーサルに対応します。
- 壁からの奥行　　ポップイン時　：74mm
  ポップアウト時：192mm
  （それぞれ、±6mmまで微調整可能）

目　次

安全上のご注意 …… 2
部品表 …… 3
取付方法 …… 4
金具の調整 …… 9
取付後のメンテナンス …… 10
製品寸法 …… 11

総輸入元：　http://www.studiotech.jp/b-tech/
スタジオテック株式会社

BT8309V2Ver.1.0KN-1

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠	**警告**　人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠	**注意**　人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。（してはいけない禁止内容）
⊘	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容）
❗	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。（気をつける内容）

警告

⚠ 禁止

壁の強度は少なくともディスプレイと壁掛金具を合わせた重量の５倍の重量に耐える強度が必要です。
BT8309V2 業務用薄型ディスプレ壁掛金具は、総重量 25kg 以下の液晶等の薄型ディスプレイを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型ディスプレイの取り付けには絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、薄型ディスプレイが落下して、けがをしたり、ディスプレイが破損する原因となります。

⊘

工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠

取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

⊘

荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。

⊘

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にディスプレイを取り付けないで下さい。 ディスプレイに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

⚠ 禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとディスプレイの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

❗

ディスプレイの取り付けや取り外し作業は２人以上で行って下さい。
ディスプレイが落下して、けがをしたりディスプレイが破損する原因となることがあります。

⚠ 禁止

本製品には小さな部品が同梱してあり、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。

⊘

取り付け作業の際は、ディスプレイや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、ディスプレイや周辺機器を破損する恐れがあります。

❗

組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、スタジオテック（株）に連絡して下さい。
尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

❗

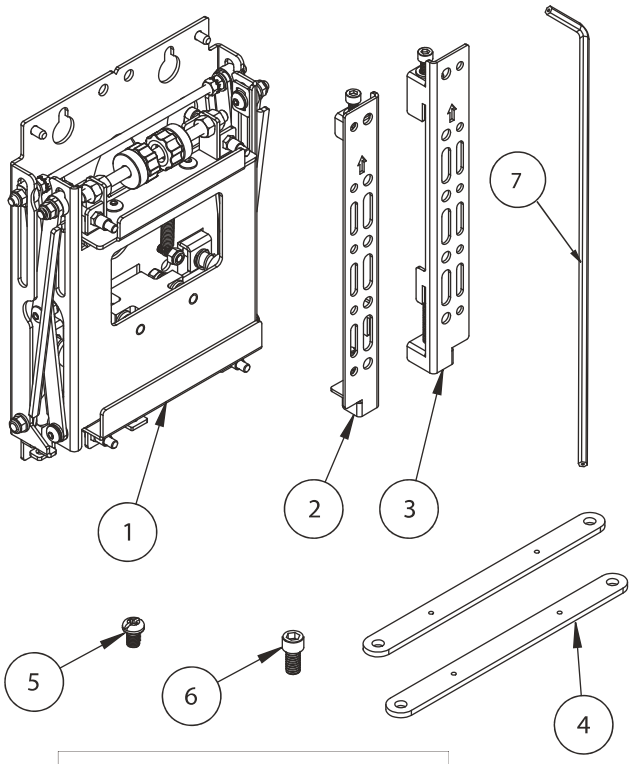
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

⊘

スタジオテック（株）は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

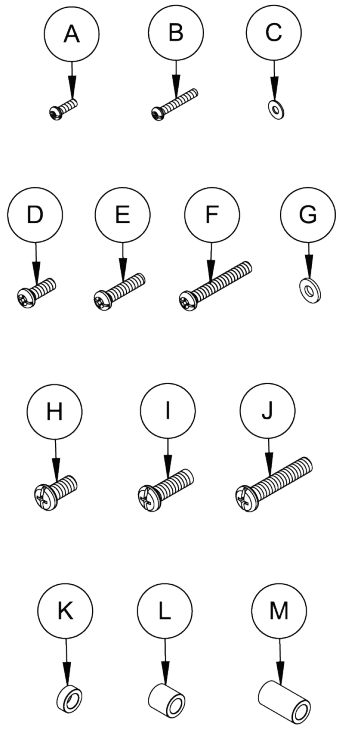
BT8309V2
部品表

販売店様・工事業者様へ
ディスプレイの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は専門の工事業者様が取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。

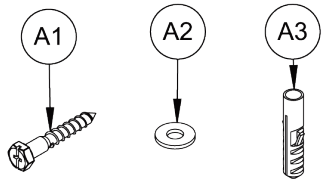


	部 品 表	梱包数
①	壁掛金具	1
②③	ディスプレイ・ブラケット	2
④	VESA200拡張アダプター	2
⑤	VESA200拡張アダプター取付ネジ M4x6mm	4
⑥	ポップアウトロックネジ M6x12mm	1
⑦	六角レンチ	1
	ディスプレイ取付用ネジ類	
A	M4 x 12mmネジ	4
B	M4 x 25mmネジ	4
C	M4 ワッシャー	4
D	M6 x 16mmネジ	4
E	M6 x 25mmネジ	4
F	M6 x 40mmネジ	4
G	M6 ワッシャー	4
H	M8 x 16mmネジ	4
I	M8 x 25mmネジ	4
J	M8 x 40mmネジ	4
K	5mm スペーサー	4
L	13mm スペーサー	4
M	24mm スペーサー	4
	壁面取付用ネジ類	
A1	M8 x 50mm　コーチボルト	4
A2	M8 ワッシャー	4
A3	カールプラグ	4

ディスプレイ取付用ネジ類



壁面取付用ネジ類

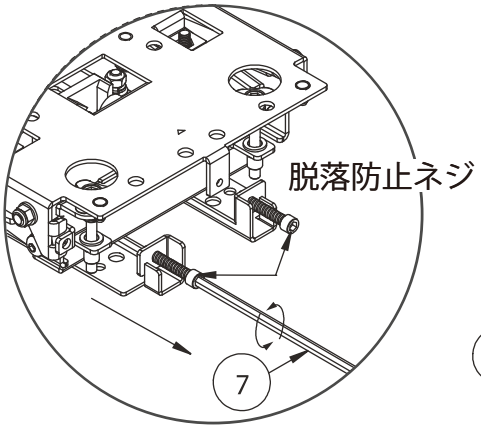


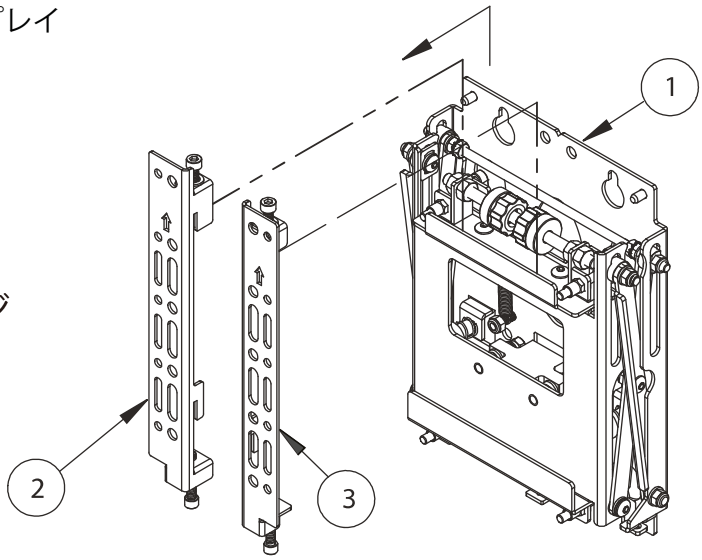
壁掛できるディスプレイは総重量
25kg以内です。

取　付　方　法

1

脱落防止ネジをゆるめ、②＆③ディスプレイブラケットを取り外します。

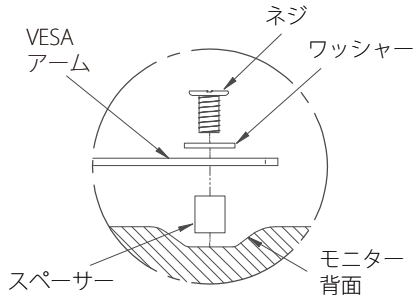


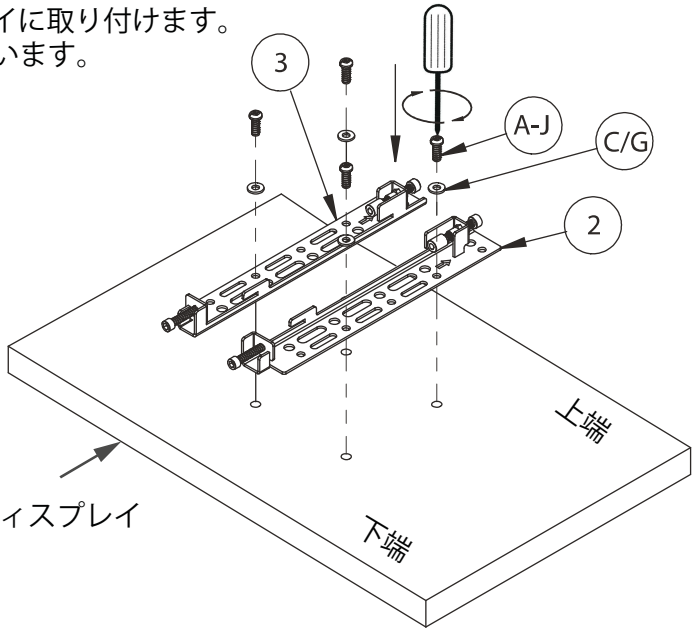


ディスプレイブラケット②③をディスプレイに取り付けます。
部品表のAからJまでのネジのいずれかを使います。

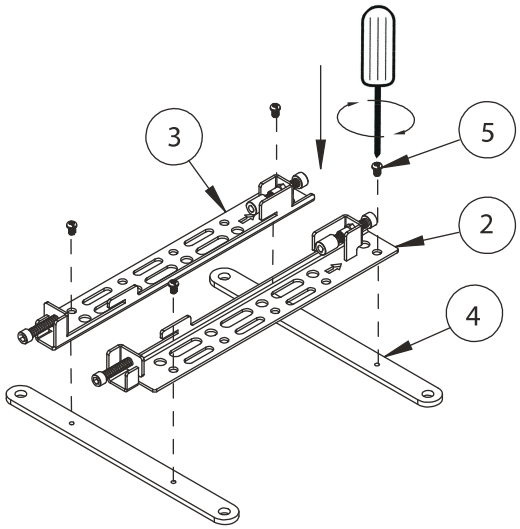
※全てのネジを使う必要はありません。

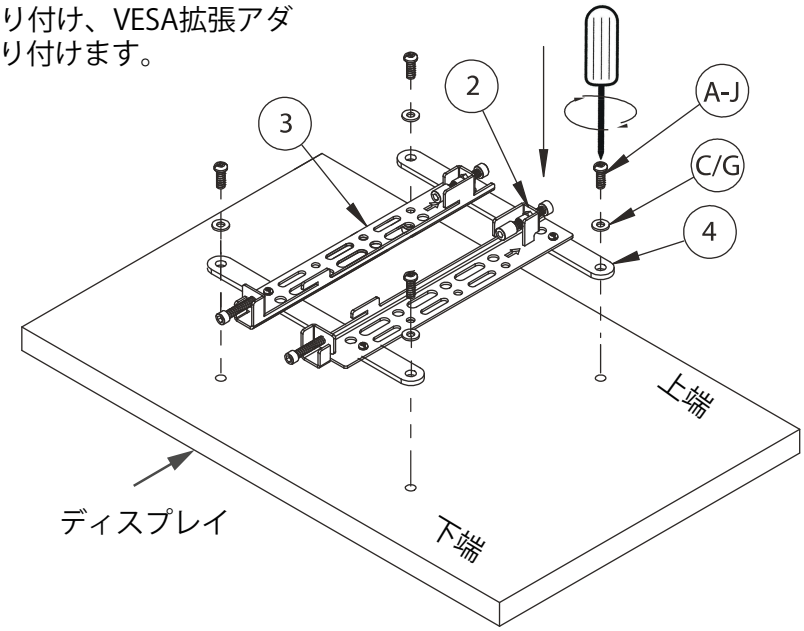
取り付ける壁面に掘り込みやディスプレイ背面に出っ張り等がある場合はKからMのスペーサーを使用して調整してください。





取り付けるディスプレイのVESAピッチが200 x 200の場合は④VESA拡張アダプターを使用します。
部品表のAからJまでを使って④を取り付け、VESA拡張アダプター取付ネジ⑤で②・③と④を取り付けます。



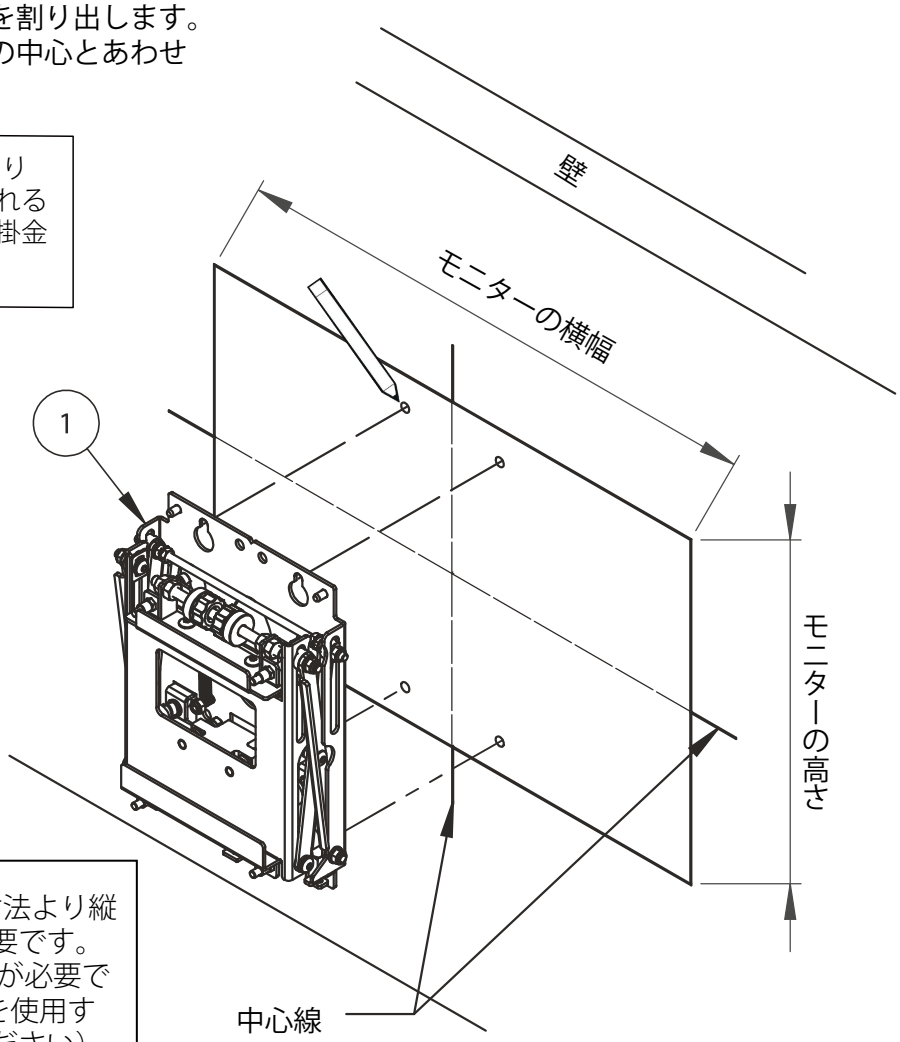


2A

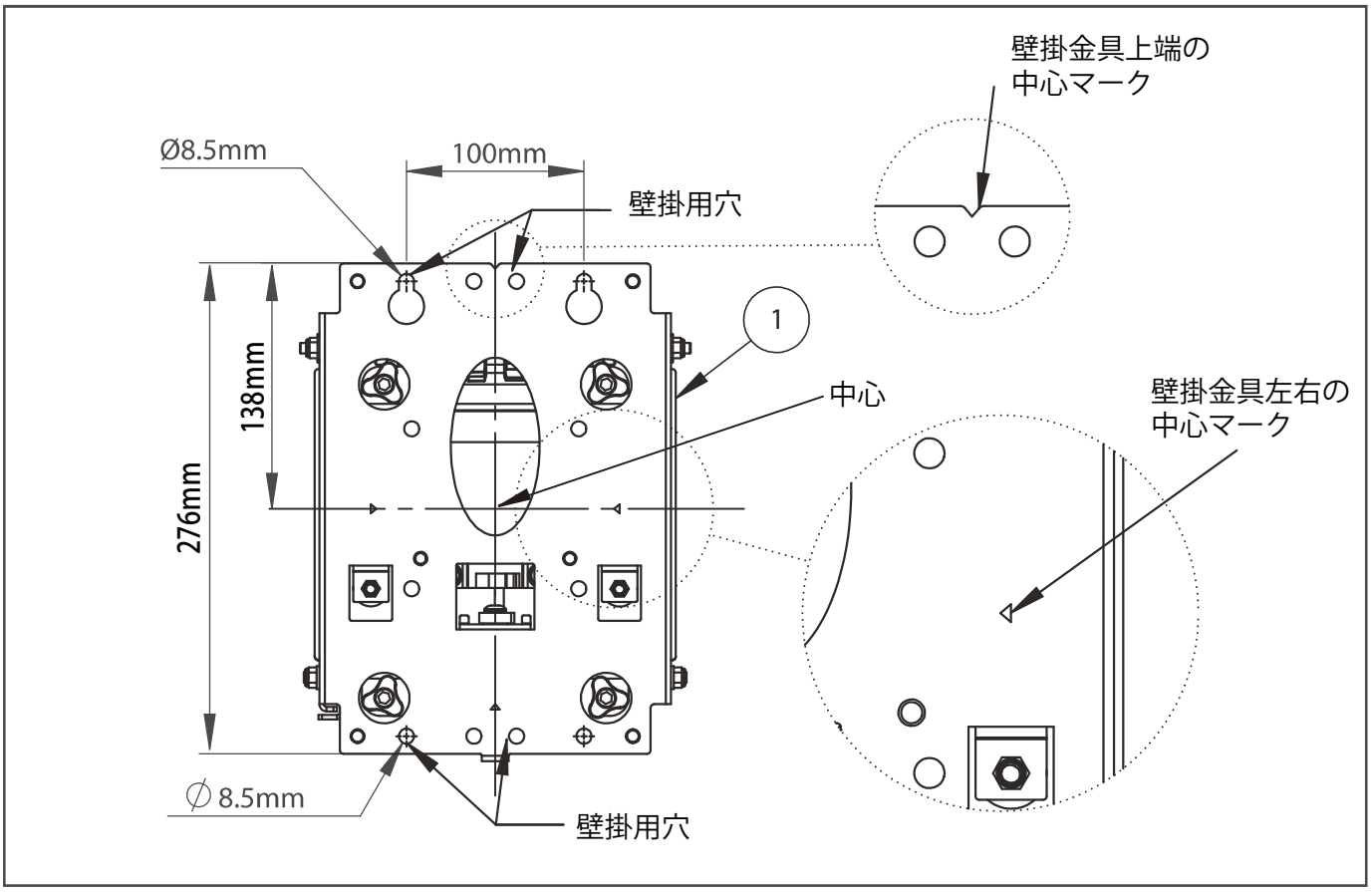
○単体で使用する場合

1.ディスプレイの中心位置を割り出します。
2.中心線を使って壁掛金具の中心とあわせます。

ディスプレイのVESA穴位置によりディスプレイの中心が上下にずれる場合は、その差を割り出して壁掛金具取付位置を調整してください

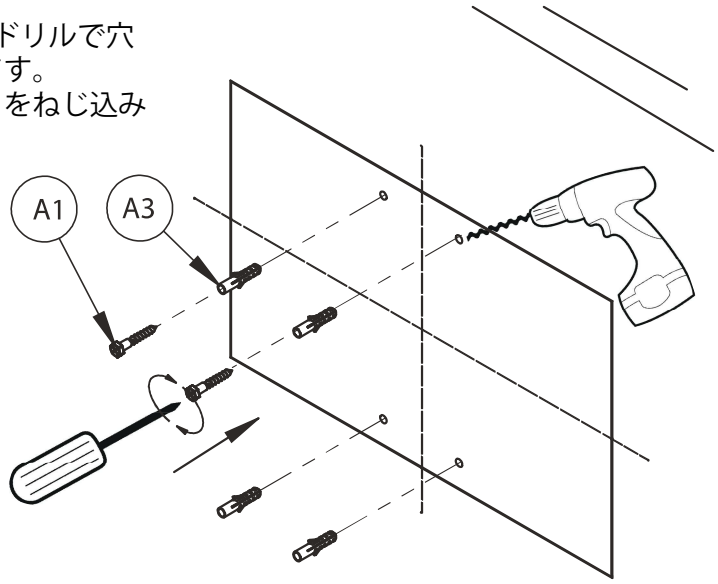


壁を掘り込む場合ディスプレイの寸法より縦横それぞれ1mm以上の大きさが必要です。深さは74mm+ディスプレイの厚みが必要です。（部品④VESA拡張アダプターを使用する場合はさらに4mmプラスしてください）



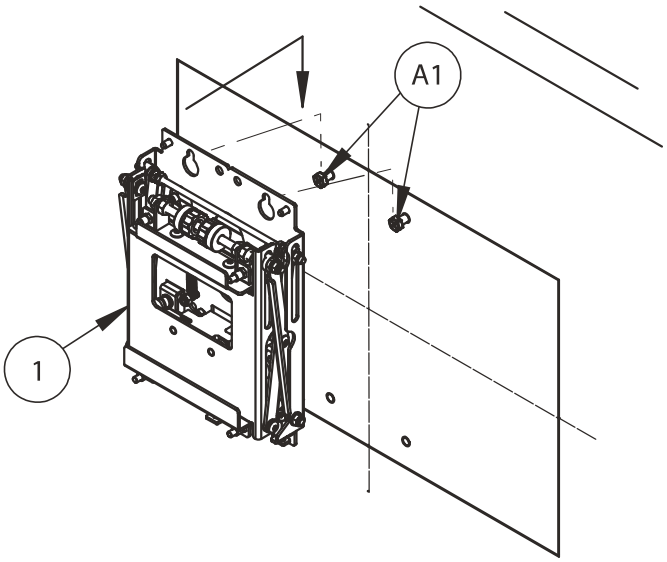
2A

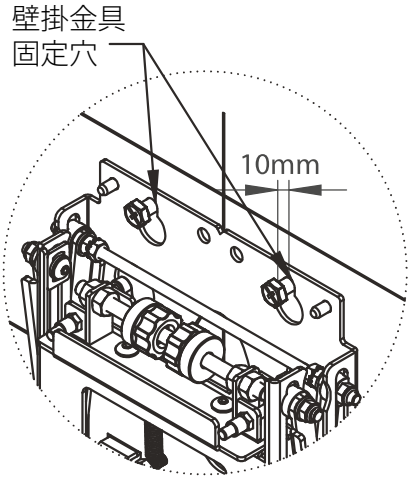
3.①壁掛金具の取付用に四カ所印をつけてドリルで穴をあけ、部品A3カールプラグを埋め込みます。
上部の取付穴二カ所に部品A1コーチボルトをねじ込みます。
※まだきつく締めないでください。



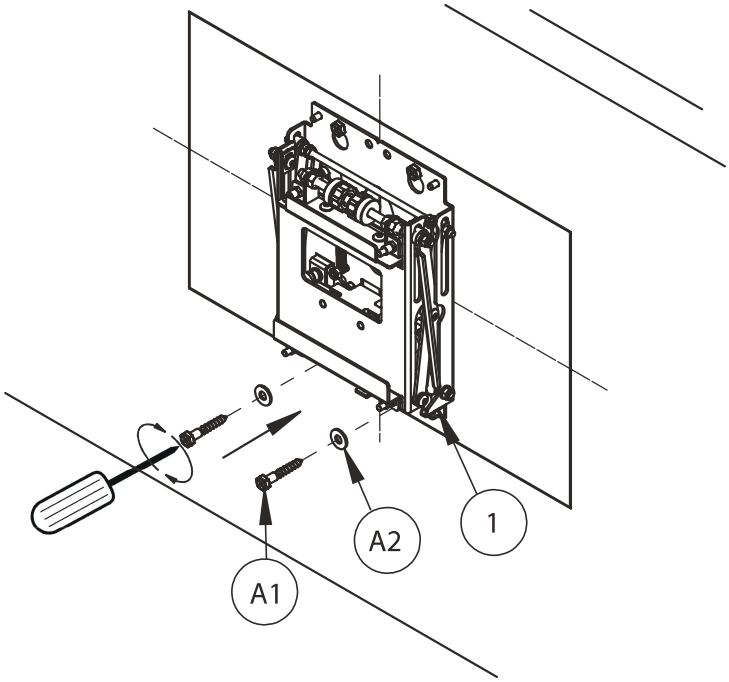
付属部品が壁の構造にあわない場合は、別途壁の構造に合ったカールプラグやボルトをご用意ください。

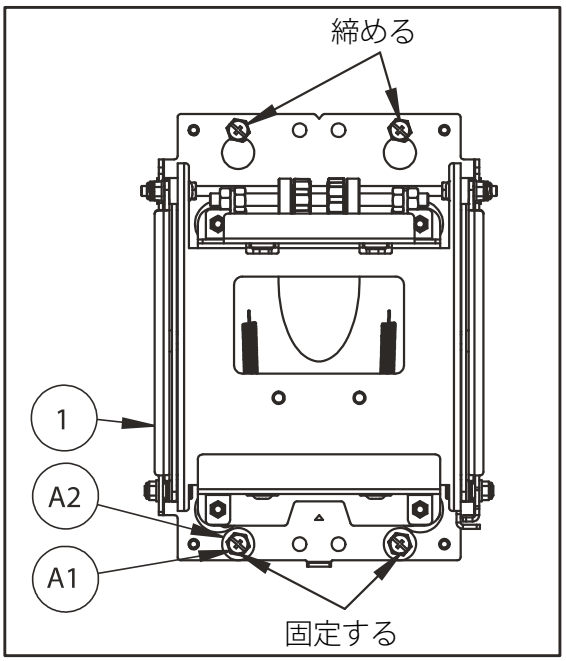
4.A1に①壁掛金具をひっかけます。





5.下部の固定穴二つから部品A2ワッシャーと部品A1コーチボルトをねじ込んで固定します。
上部の部品A1コーチボルトもしっかり締めます。

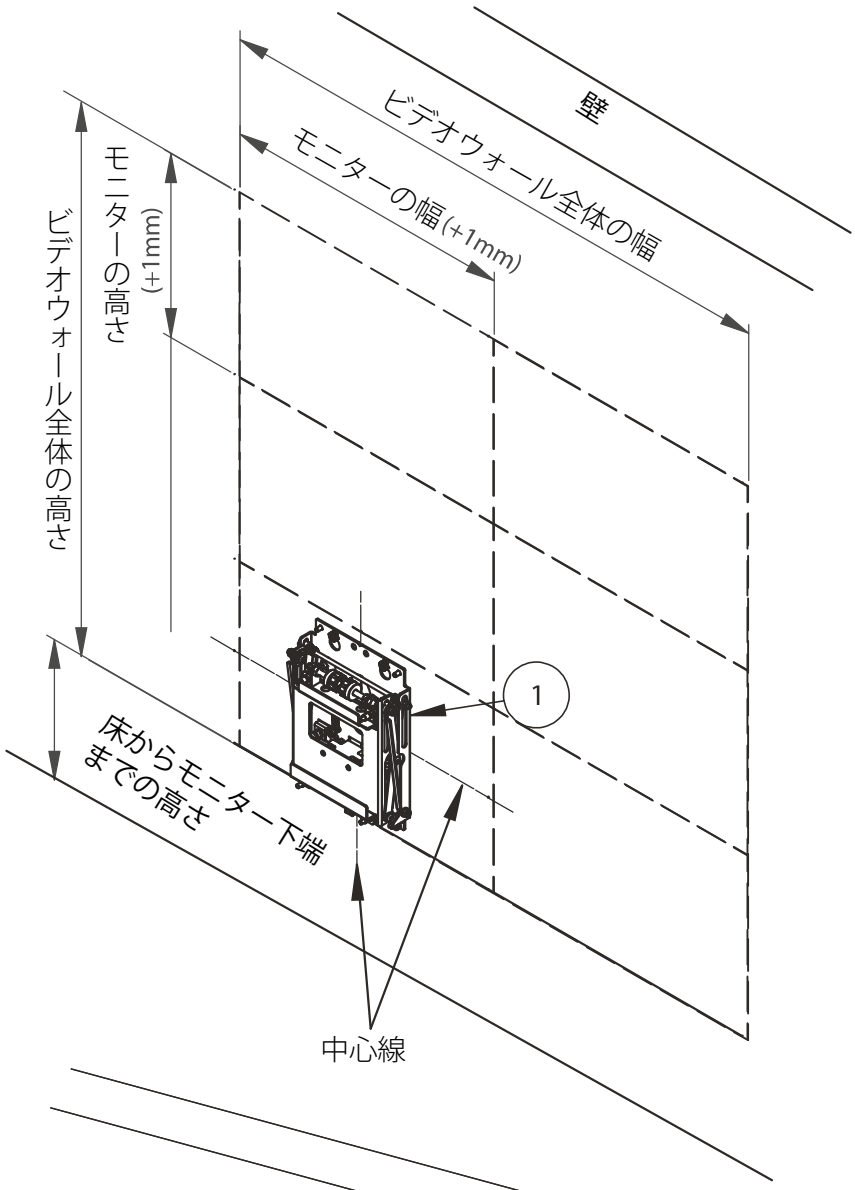


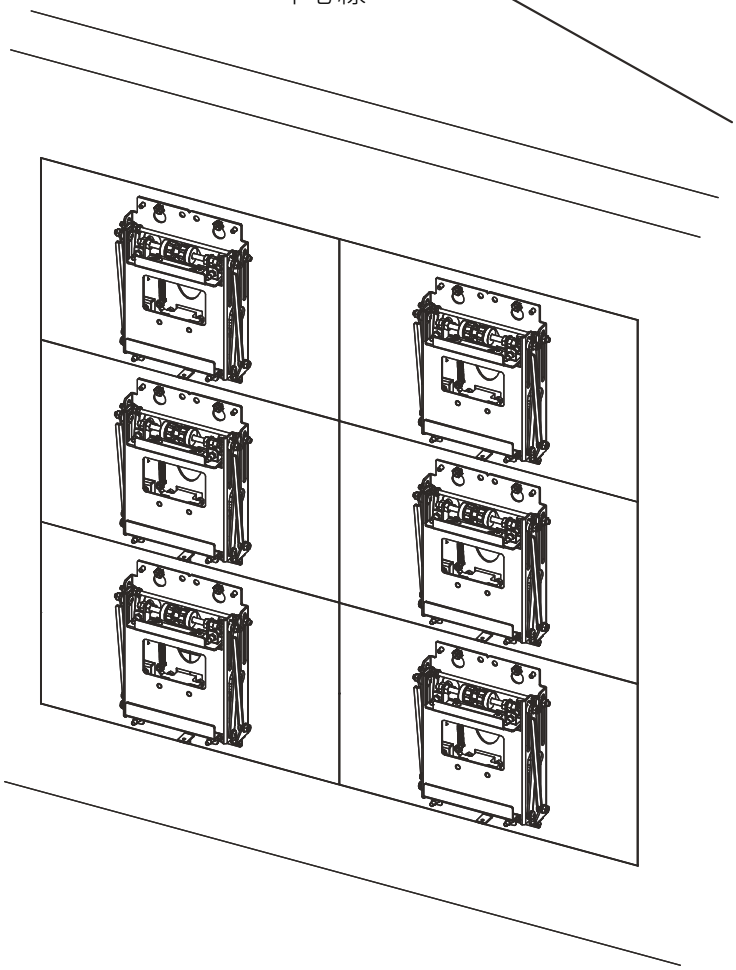


2B ○ビデオウォールで使用する場合の最初の金具の取付

1.ビデオウォールの左下に位置するディスプレイの中心位置を割り出します。
2.ディスプレイの中心に①壁掛金具の中心を合わせます。
※合わせ方は5ページ参照

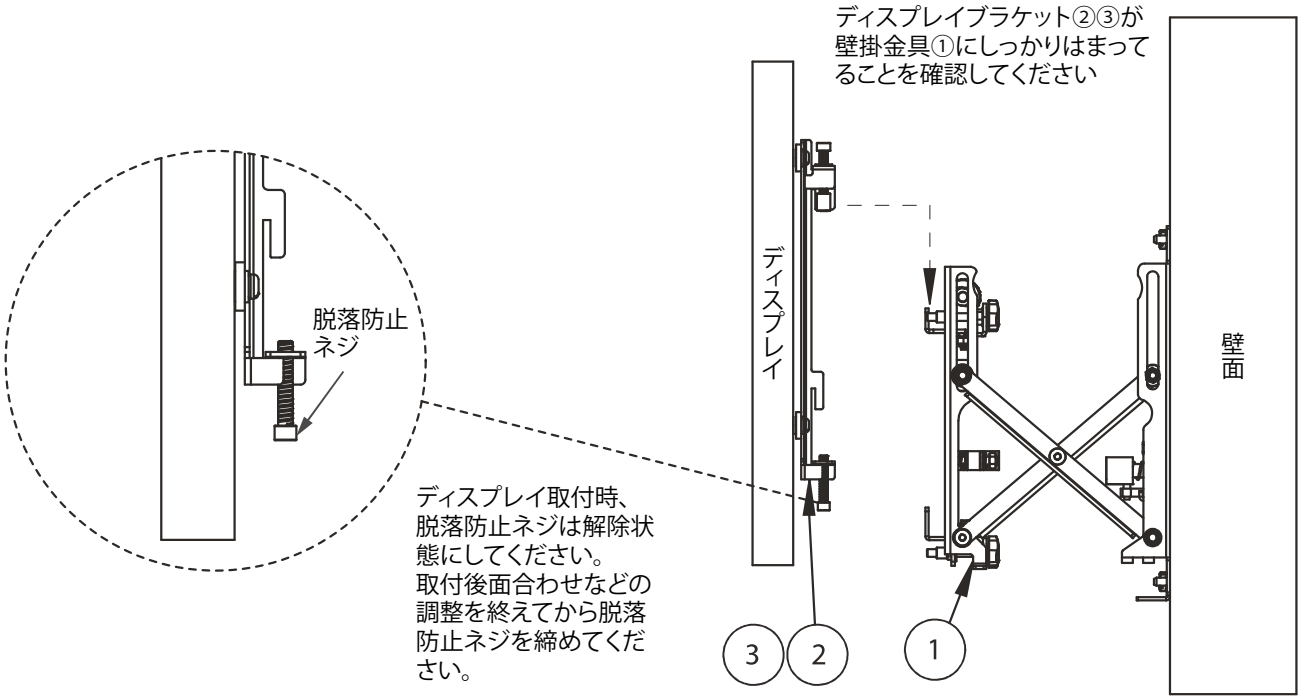
3.順にとりつけてゆきます。



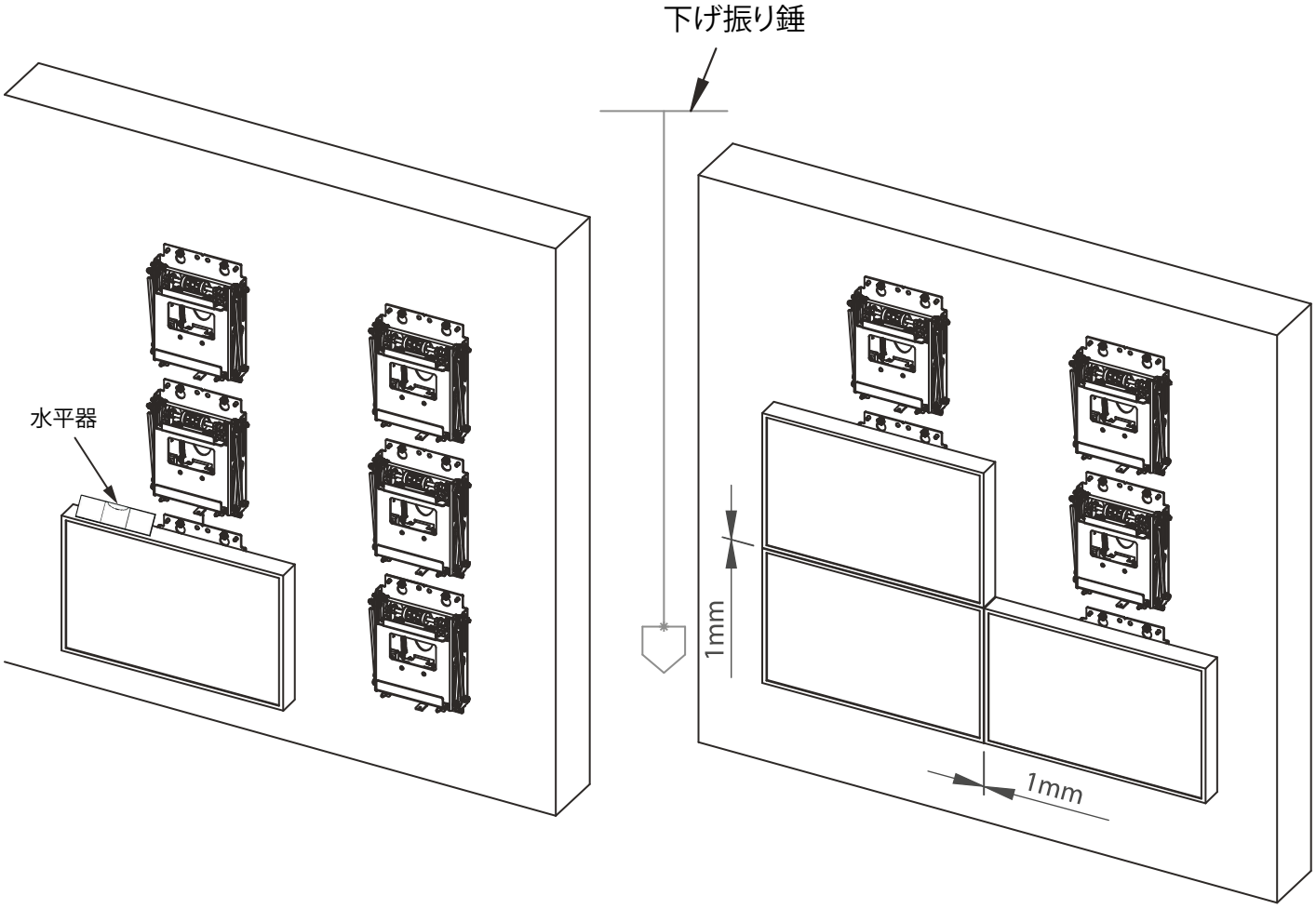


3

②・③ブラケットを取り付けたディスプレイを取り付けます。



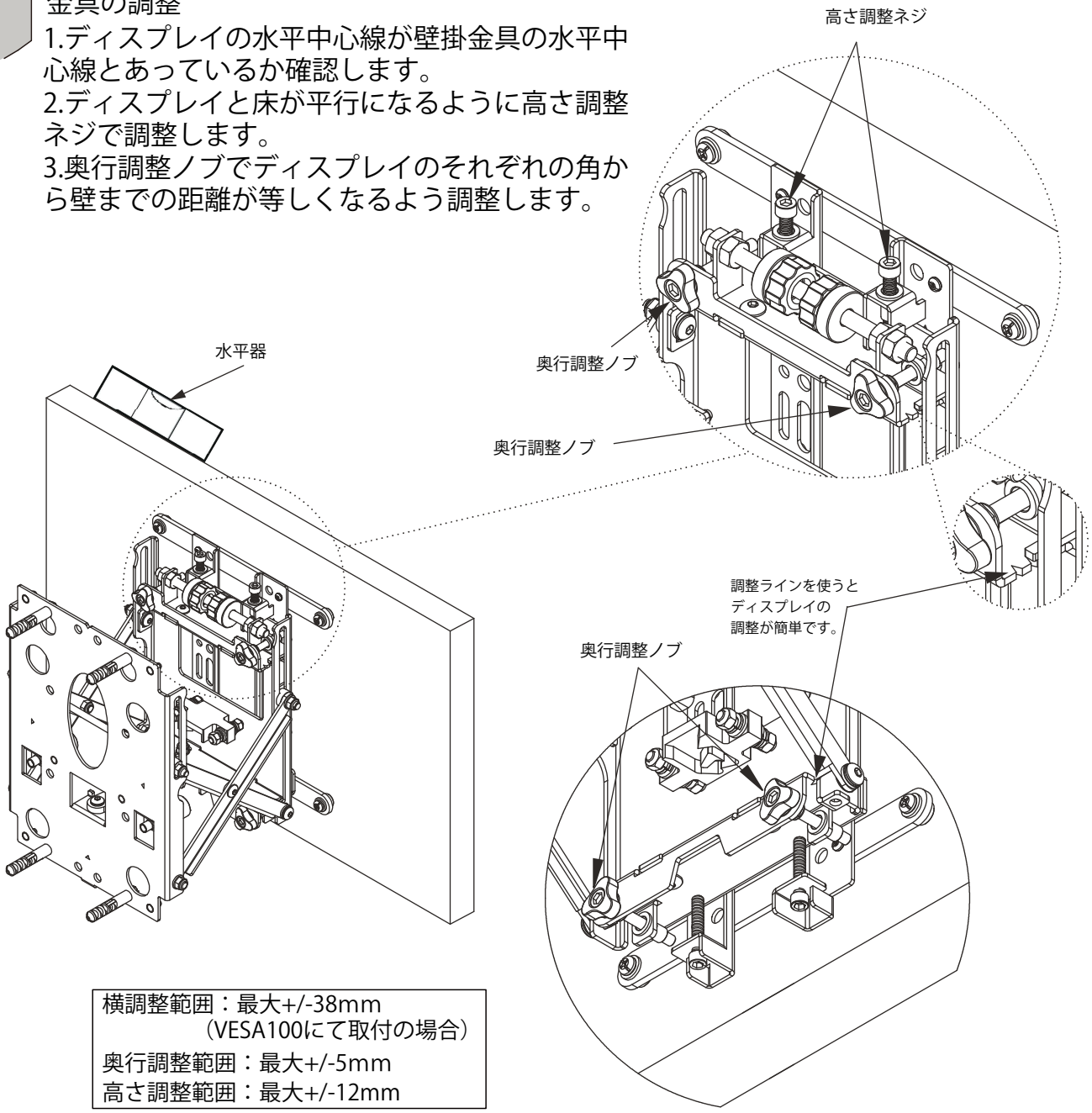
ビデオウォールの場合は左下のディスプレイから順に取り付けます。
ディスプレイは上下左右で1mm以上の間隔をあけてください。
ディスプレイをすべて取付け面合わせ等の調整を済ませたら脱落防止ネジをしっかりしめてください。



4

金具の調整

1.ディスプレイの水平中心線が壁掛金具の水平中心線とあっているか確認します。
2.ディスプレイと床が平行になるように高さ調整ネジで調整します。
3.奥行調整ノブでディスプレイのそれぞれの角から壁までの距離が等しくなるよう調整します。

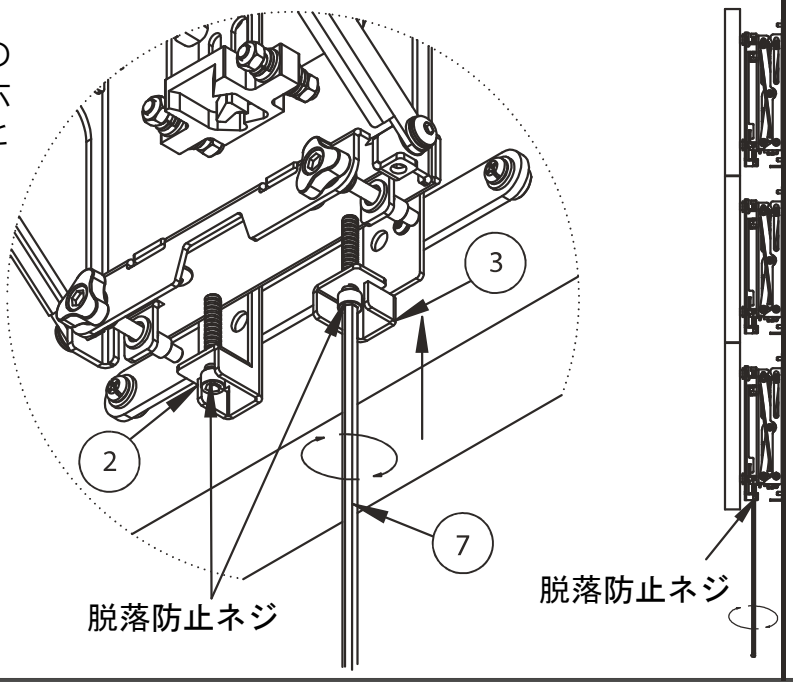


横調整範囲：最大+/-38mm
（VESA100にて取付の場合）
奥行調整範囲：最大+/-5mm
高さ調整範囲：最大+/-12mm

5

ディスプレイの固定

ディスプレイブラケット②③の下端にある脱落防止ネジを、六角レンチ⑦を使ってしっかりと締め上げます。

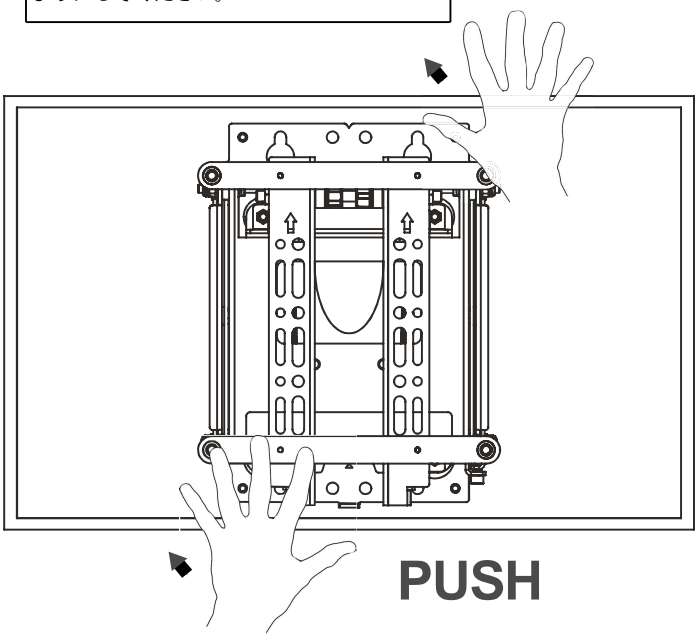


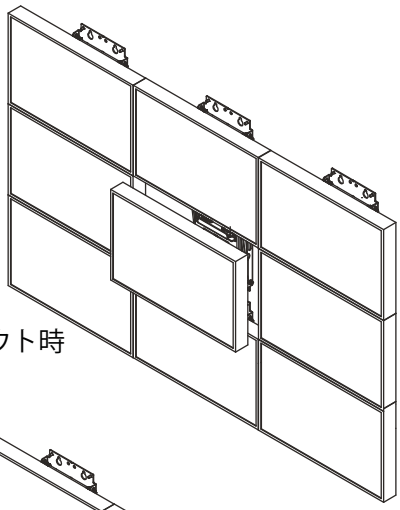
取付後のメンテナンス

6

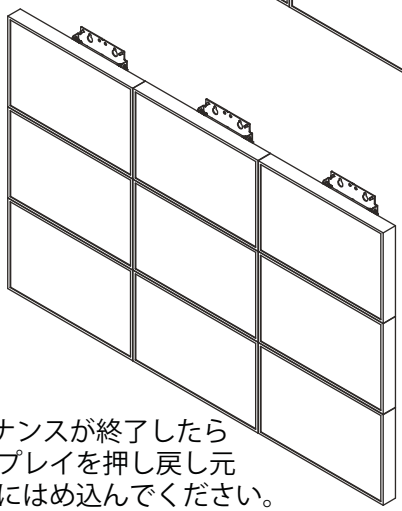
1.取り付けたディスプレイのメンテナンスをする場合は、ディスプレイごと壁掛金具を押してポップアウトさせます。この時、ディスプレイをしっかり持ってください。また、ディスプレイ 画面を傷つけないよう気を付けてください。

ポップアウトさせる時は、ディスプレイフレームの上下を押すようにしてください。
画面の歪みを避けるため、左右のディスプレイブラケットの上下を金具に沿って軽く押すようにしてください。





2.ポップアウト時

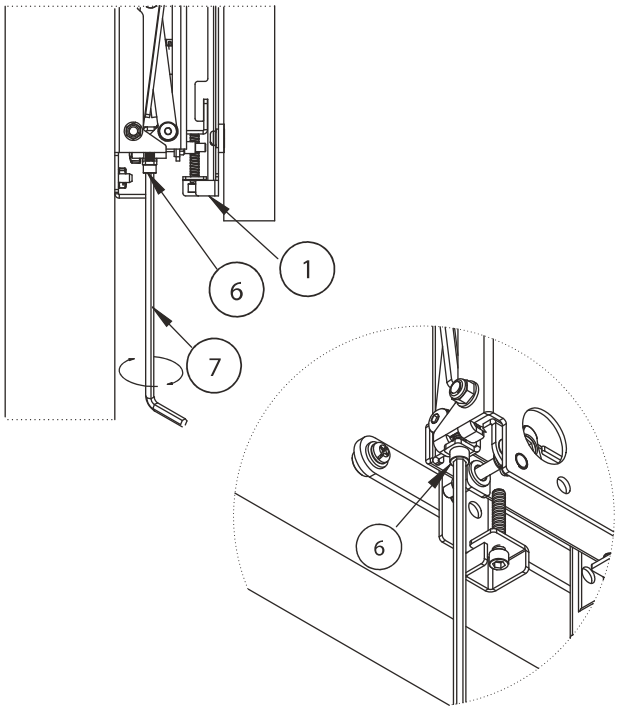


3.メンテナンスが終了したら
ディスプレイを押し戻し元
の場所にはめ込んでください。

うまくポップアウトしない場合はポップアウトロックネジが（下図参照）解除されているかどうか確認してください。

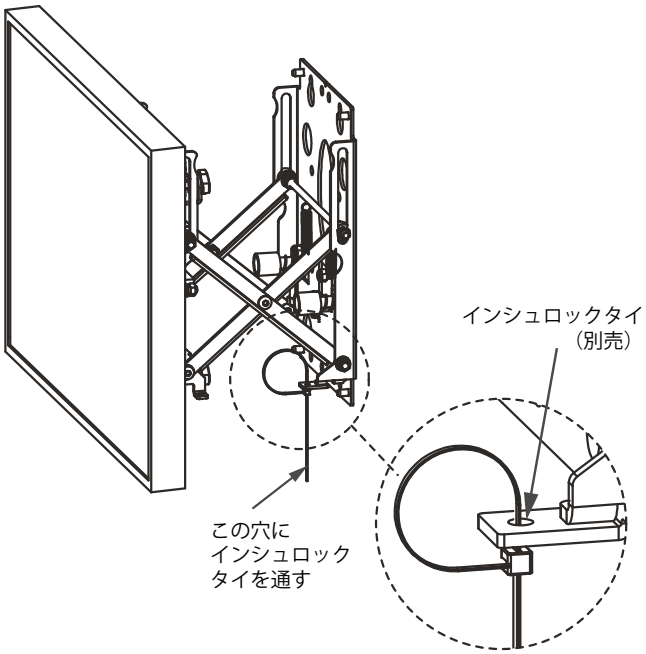
ポップアウトロック

ポップアウトさせないようにするには
ポップアウトロックネジ⑥を締めます



ケーブルの整理

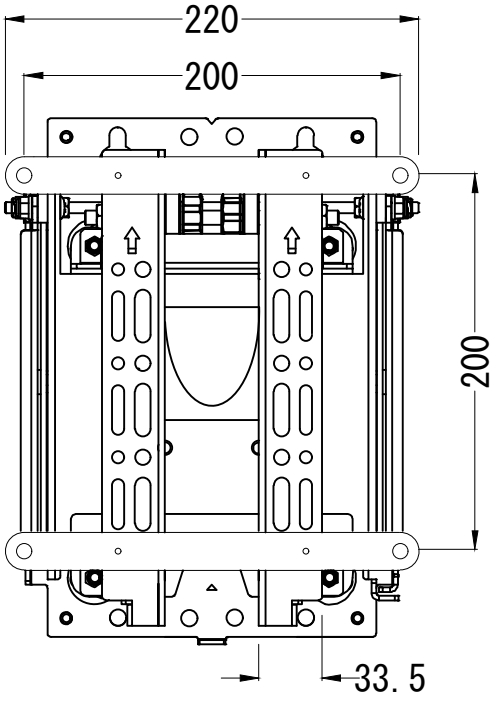
インシュロックタイ（別売）を使ってケーブルをまとめると背面を整然と保てます。



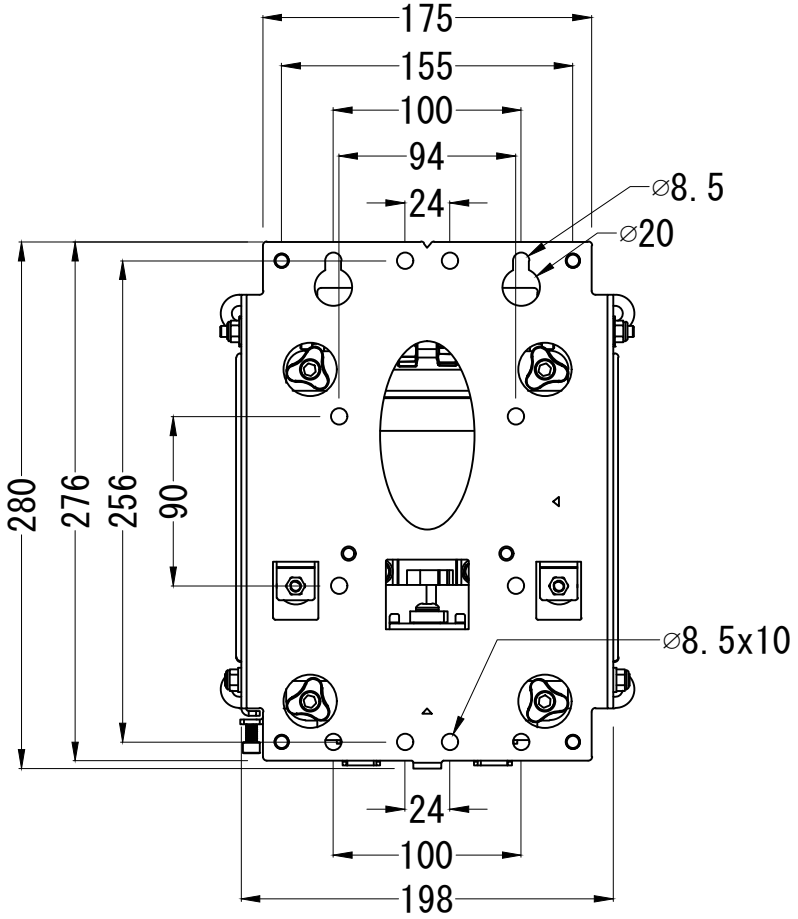
BT8309V2 外観図

正面図

VESA金具　上下調節範囲
上下アジャスター範囲 ±6mm

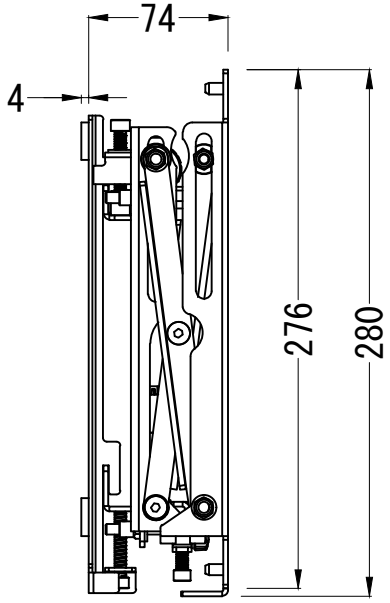


背面図

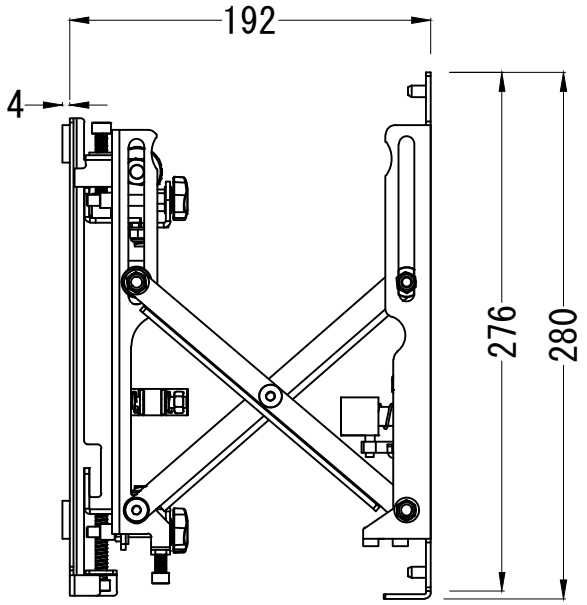


側面図

収納時奥行
前後アジャスター範囲　±6mm



オープン時奥行
前後アジャスター範囲　±6mm



⚠ ご注意 ⚠

ケーブルの挟みこみを防止するために、必ずケーブルをケーブルガイドに固定してください。引き出し時にケーブルが引っ張られ過ぎないよう、ケーブルの長さに余裕をもってケーブルガイドに固定してください。

仕様は、改良のために予告無く変更することがあります。

BT8309 v2

http://www.studiotech.jp/b-tech/